



今号では、臨床シミュレーションセンター（Clinical Simulation Center: 以下 CSC）で行われた活動とその様子を写真つきでご紹介します。皆様の CSC 活用に際しまして、参考となればと思います。

研修医ハンズオンセミナー

12月18日、臨床シミュレーションセンターで企画した研修医ハンズオンセミナーを開催しました。今回のテーマは、骨髄路確保と超音波エコー下での CVC 挿入で、救急部 藤田先生、麻酔科蘇生科 黒澤先生方の指導の下、8名の研修医が参加しました。アンケート集計結果では、すべての参加者から「このようなセミナーは必要」「数年後もまた受けたい」との評価がありました。

骨髄路確保の様子



講義のあと、皮膚付き骨モデルに骨髄針を穿刺します。穿刺した際には、骨皮質を貫通した感触が体験できます。

右下の写真は、穿刺部位について藤田先生が説明している様子です。

超音波エコー下 CVC 挿入の様子



CVC 挿入シミュレータに超音波エコーのプローブをあて、モニター上で血管が穿刺される様子を確認します。同時に血管に穿刺した感触を体験できます。

医学部学生 ACLS 勉強会

不定期ながら、おおむね隔週で開催している学生の救急勉強会になります。

基本的に医学科3年から5年が主体となっておりますが、この日は1・2年にも声をかけ、BLSとACLSの違いや除細動器の安全な使い方を学び、一連の流れを仮想のシナリオを通じて体験してもらいました。

（医学科3年 富田さん）

BLS と ACLS の対比



除細動器の接続と設定



5年生による心電図波形の説明



SSH 訪問実習

1月15日、文部科学省認定スーパーサイエンスハイスクール指定校である旭川西高校が医療体験実習に来ました。参加者は将来医療への道を目指す高校1・2年生29名です。実習では、6つの技術についてトレーニングを行いました。実習生のアンケートからは、「医学・看護学に対する好奇心が高まった」「医療の道に進むために勉強を頑張ります」などの回答がありました。

実習の受け入れにご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。

成人の心肺蘇生



心肺蘇生トレーニングBOX“あっぱくん”で胸骨圧迫のトレーニングをする様子です。実習生の皆さん、とても一生懸命です。

腹腔鏡下手術



腹腔鏡下手術シミュレータを使用。モニターをみながら内視鏡持針器、鉗子で画鋸や糸を結ぶ作業は大盛況でした。

車いす移乗介助



ボディメカニクスを活用した体位変換や移動の介助について学習しました。軽々と介助をする看護師の実践に驚きの声があがりました。

乳児の心肺蘇生



講義の後にマネキンでの心肺蘇生の実技練習。サプライズゲストに育休医療者が赤ちゃんを連れてきてくれました。赤ちゃんを抱く実習生の表情がとても和やかです。

衛生学的手洗い



蛍光成分入りのローションを両手に塗り込み、手洗いをした後、特殊な光にかざし洗い残しをチェックします。実習生より「普段の手洗いでは不十分だとわかりました」と感想がありました。

採血

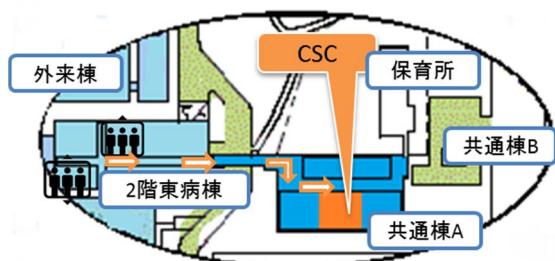


模擬血液が流れる腕モデルへ実際に針を穿刺して採血を行いました。自ら実際に人に行うようなイメージをもって、真剣に取り組まれる実習生もいました。

医学部学生の皆様へ

CSCは医学部学生の皆様のスキルアップをサポートします。CSCでは臨床実習にあたり取得しておきたい基本的手技のトレーニングを行うことができます。先日医学部第4学年で行われましたOSCEの復習などで引き続きトレーニングを希望する方は、どうぞ気軽に御利用ください。ご意見・ご要望についてもお待ちしております。

また、CSC探検ツアーへの参加も受け付けております。希望される方は下記問合せ先までご連絡ください。



【お問合せ先】

旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター

連絡先 : 内線 2860 PHS : 7580

E-mail : skillslab@asahikawa-med.ac.jp

スタッフ常駐時間 : 平日 8:30~17:15

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>

学内ホームページから独自ページへリンクしています。